

# 清流木曾川中津川リレーマラソン大会における健康管理について

## 1. 当大会関係者の健康管理(チーム及びチーム関係者、運営スタッフ)について

関係者全ての大会2週間前～当日～2週間後までの健康状態と連絡先を把握するため下記チェックシートの提出をお願いし、管理いたします。

2週間前～当日

大会前2週間「**体調管理チェックシート**」にて体調を確認してください。

チームの代表者はこれらをまとめ管理ください。[「体調管理チェックシート」PDF](#)

代表者の方は「**提出用 チェックシート**」に選手及び選手以外の方のお名前および体調確認チェックを行い以下の様式で大会当日受付に提出をお願いいたします。[「提出用 チェックシート」PDF](#)

終了～2週間後

大会終了後、2週間は健康観察を続け、異常があった場合は必ず連絡ください。

## 2. リレーゾーンの変更

リレーゾーンでの密集緩和策として、昨年までのリレーゾーンを変更します。

## 3. スタートの変更

昨年までの一斉スタートをやめ、10人ずつのウェーブスタートとします。また、フルとハーフの同時スタートもやめ、ハーフはフルの2時間後のスタートといたします。

## 4.管理体制

「感染症対策担当」を実行委員会内に置き、感染者、濃厚接触者、感染疑い者が発生した際の対応を中津川市および保健所と連携しながら感染症対策を行います。

1. 予防対策や感染者が発生した場合の行動計画を策定し、「感染症予防対策マニュアル」にまとめます。
2. 感染症対策の内容をチーム、ボランティア、競技役員などに対して周知を行います。

#### 4. 当日のチーム受付における感染症対策

チーム受付では以下の対策を講じます。

- ・会場入口における体温チェック・手指消毒・マスク着用の義務化と確認
- ・会場の入口を一元化し、入口に非接触体温計を配備し、37.5 度以上の熱のある方は入場をお断りし、参加を辞退していただきます。  
また必ずマスクを着用いただき、手指消毒のご協力を行っていただきます。
- ・飛沫防止を避けるため飛沫防止シートを全ての受付に設置し、スタッフはマスク、フェイスシールドを着用します。
- ・会場内→密集を避け、絶えず消毒を実施します。
- ・会場への入場はチームとその関係者に限定します。

#### 5. 大会当日の会場および競技運営における感染症対策

大会当日は以下の感染症対策を講じます。

東美濃ふれあいセンター入口を一か所に限定し非接触体温計を設置→2か所

チームチェックゲートにおける体温チェック

スタートエリアの密集回避→観客の排除

リレー待機エリアやウェーブスタートエリアの待機チーム数を制限し、ランナーの分散を図ります。

給水所を廃止して感染対策を高めます。

応援席を設けず、応援者の入場をお断りします。

#### 6. ボランティアの感染症対策

マスク、フェイスシールド着用を義務化し業務にあたります。

#### 7. 救護所における感染症対策

救護所は2か所設置します

救護所の受付には、飛沫防止シート、消毒液を設置します

医療スタッフ(看護師)はマスク、サージカルガウン、フェイスシールドなどの感染防止備品を装着し、業務にあたります。

## 8. その他の対策

チーム待機エリアを拡大し、チーム間の距離を確保します。

リレーマラソンエリア、待機芝生エリアには事前登録された方のみ入場可。

応援ゾーンの廃止。

感染症疑いなどが発生した場合の対応や終了後感染者が発生した場合についても管轄保健所と連携し対応できるように事前にマニュアル化し、迅速な対応が行えるように努めます。